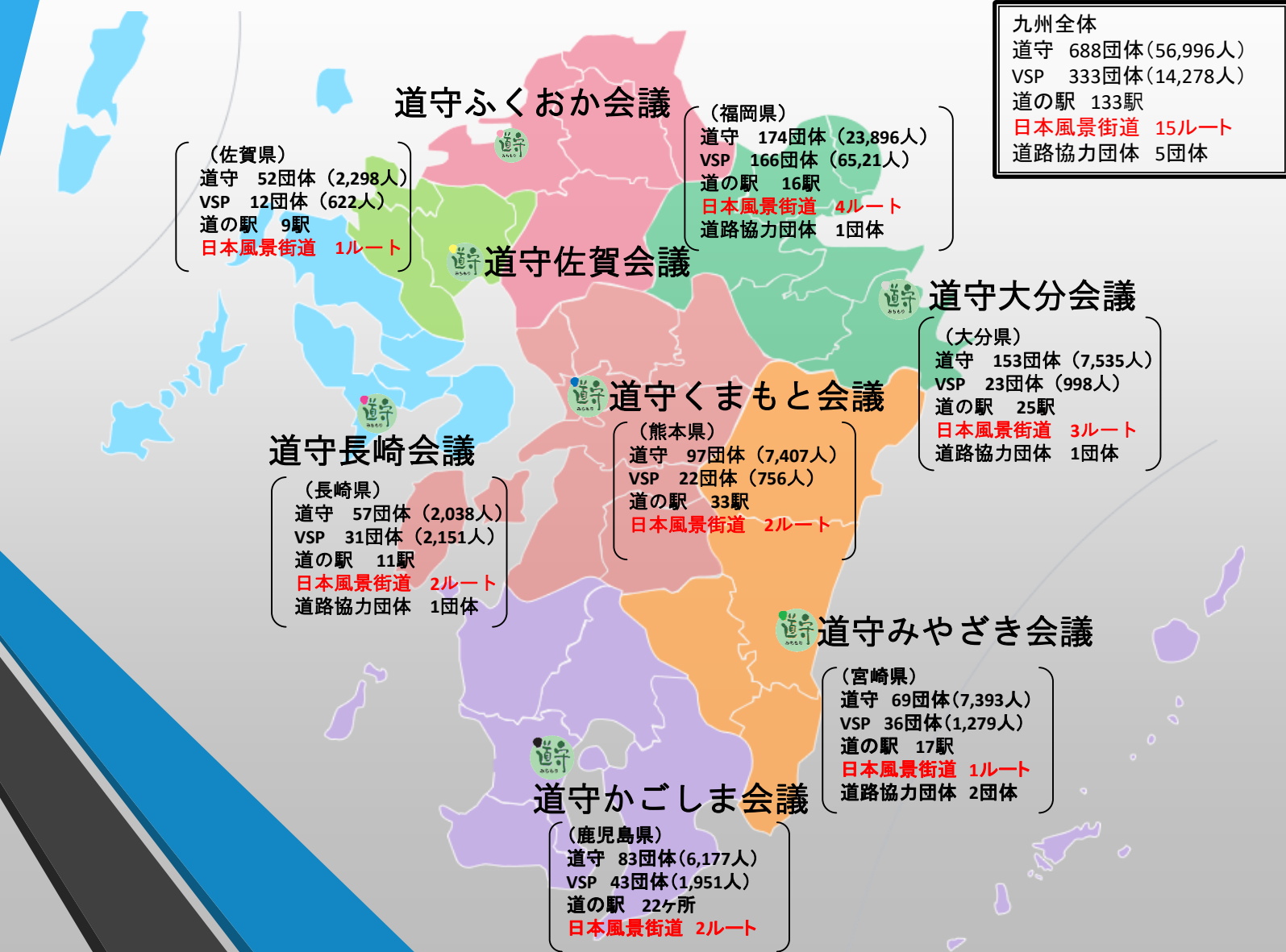


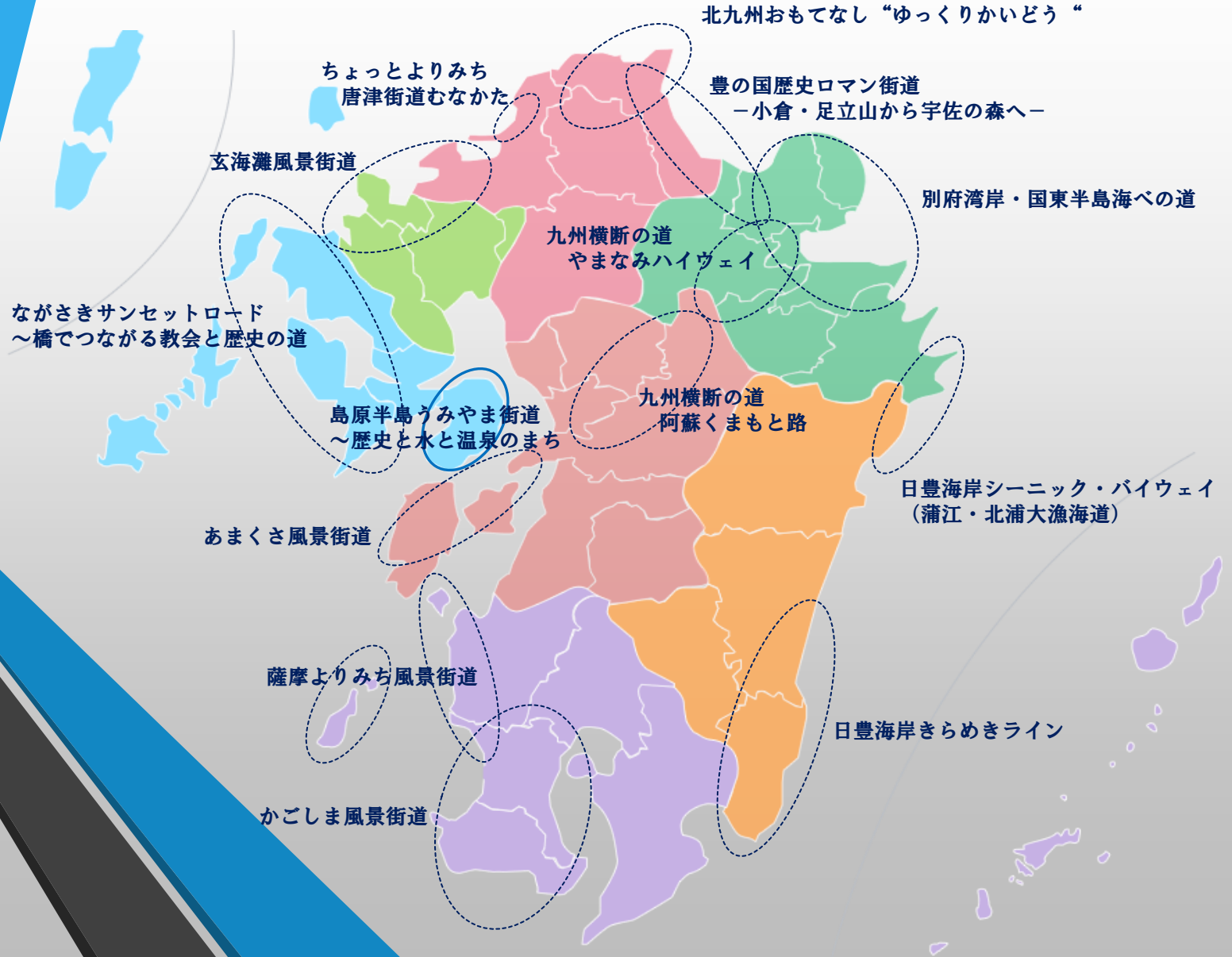
九州における道路に関する関係団体

九州で「道」に関するさまざまな活動を行う人々や団体が構成する民主体の任意団体で、民と行政との「協働」を基本に活動。



日本風景街道 Scenic Byway Kyushu 15ルート

九州の道を舞台に、その地域の歴史・文化や景観を活かした様々な活動を協働し、地域の魅力を創出し、地域の活性化や観光振興を目指す

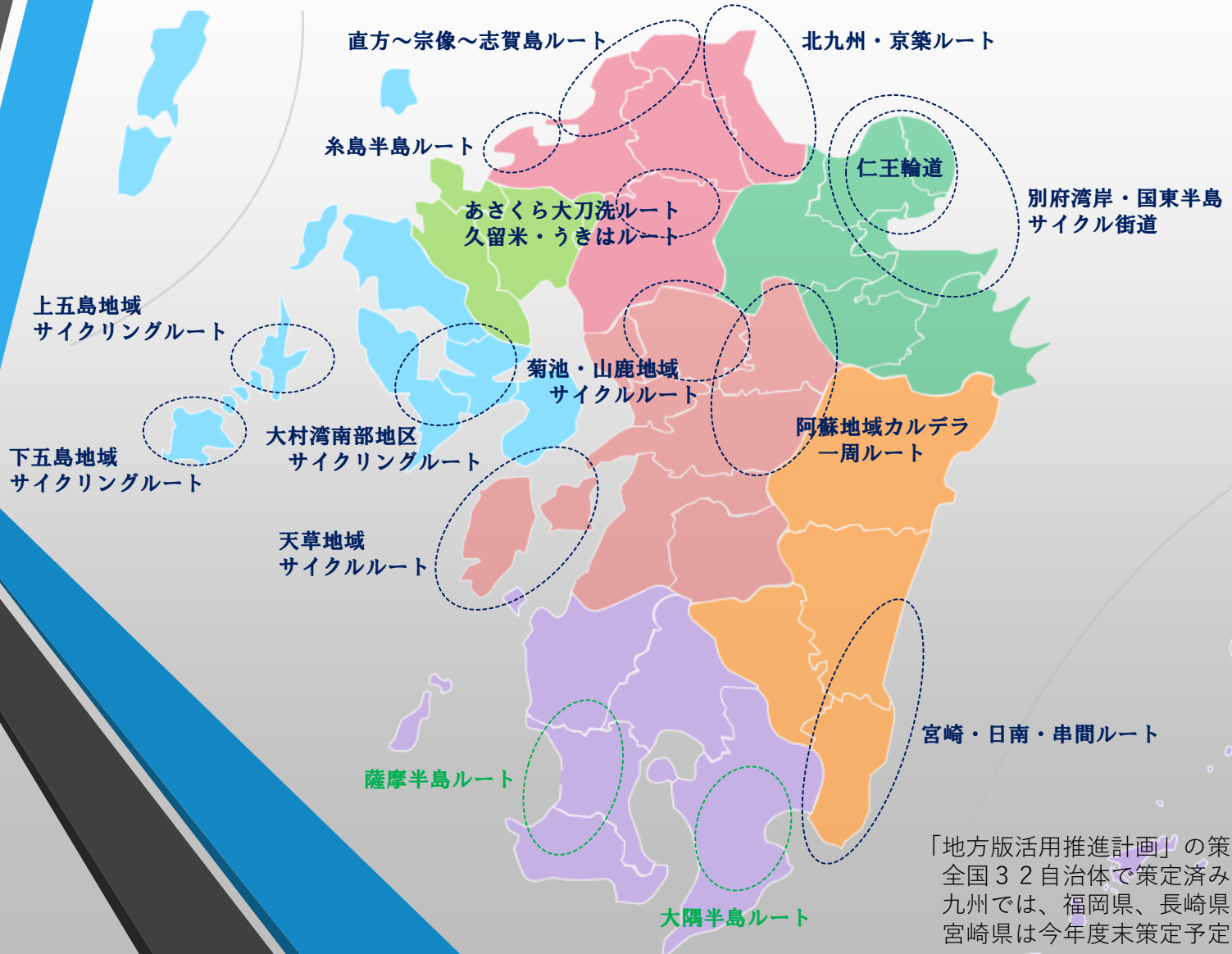


サイクルツーリズムモデルルート

17ルート

協議会において複数の市町村に跨る広域的なサイクリングルートを設定し、走行環境や受入環境の整備、情報発信等を行うモデルルートの取り組みを推進。

2018年度中に全国で32ルートが設定済み。このほか約40ルートで検討中



「地方版活用推進計画」の策定状況
全国32自治体で策定済み
九州では、福岡県、長崎県は策定済み
宮崎県は今年度末策定予定。

九州における道路に関する関係団体の連携

九州の様々な地域資源を有効に活用し、暮らす人々や訪れる人々にとって魅力的な九州を創造するため、日本風景街道・道の駅・道守の3者の特性を活かしながらも緩やかな連携を目指す！

3つの輪（道守・日本風景街道・道の駅）

更なる連携強化

道守

九州・各県道守会議
(57,000人)
(688団体)

大学、学会
各種団体等

道路協力団体
5団体

HOPE

道の駅

(142駅)

日本風景街道

(15ルート)

九州における日本風景街道の取組み

◆各種会議等の開催

- ・九州風景街道推進会議（年1回）
- ・基本問題小委員会（年2回）
- ・行政連絡小委員会（年2回）
- ・ルート代表者会議（年1回）

【新規】案内看板WG（R元年9月設立）

案内看板のあり方や、広報の役割などについて検討

【新規】ルートブロック代表者会議

連携が考えられる4ブロックで開催

◆日本風景街道大学宮崎本校（H22～年1回）

◆マイスター（23名）・MSB（132名）の認定（H30末現在）

◆「九州風景街道10周年記念シンポジウム」の開催

H30.12.19 参加者約170名

【新規】Kyushu Country 九州風景街道

外国人へのPR向け英語版作成、配布

これからの道守の取り組み

活動持続化の課題

- ・ 活動の魅力ある発信
- ・ ネットワーク同士の連携
- ・ 道の駅、風景街道との連携
- ・ 行政の意識のズレ
- ・ 県、市との温度差
- ・ 国職員の道守精神の低下



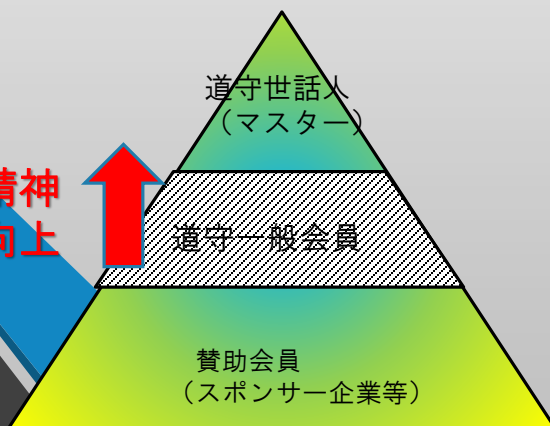
今後の活動の方向性

- 連携活動の活発化
- 魅力ある発信



- 次世代道守を育成
- 次世代道守の活動

道守精神
資質向上



- 道守の習熟度

若い世代勉強会
『道守青年会』
『子供サミット』

